

トラック運送事業者の皆さんから

●「運賃・料金、賃金関係」、「商慣行の見直し」

- ・物流というものは荷主間の仲介産業であるため、荷主間商慣習をまずは契約ベースに持って行っていただいて、物流は仲介産業として単体で契約できるような土台を作っていただきたいと考えています。

元請トラック運送事業者の皆さんから

●「運賃、料金関係」、「物流効率化（DX）」、「荷待ち・荷役対策」、「商慣行の見直し」

- ・ドライバーの拘束時間を短縮する目的で高速道路を有効活用したいが、荷主との協議がなかなか進まない。荷主さんの意識を変えていただけるような解決方法を模索している。
- ・発荷主は運送業者と協力して**配送件数の削減と積載率の向上に取り組む**ことが重要。**多件数・少量配送を削減**することが「2024年問題」の解決、運送事業者の利益改善に直結すると考える。

発着荷主事業者の皆さんから

●「商慣行の見直し」、「運賃、料金関係」、「荷待ち、荷役対策」、「人材確保」、「高速道路関係」、「附帯作業関係」、「物流効率化（モーダルシフト、DX、物流標準化）」

- ・モノが運べなくなるかもしれない、今はドライバーの努力でどうにかなっているが、来年は分からないという恐怖もある。
- ・共同輸送や待機時間の減少など依頼元の協力が必須であるため、成果を上げた依頼主には実名を出して公表する制度（トラックGメン＝悪徳依頼主の摘発）の逆の発想
- ・実務レベルでは、物流部門ではない着荷主は関係ないと思っていないか？

その他の皆さんから

●「商慣行の見直し」、「物流効率化（DX、物流標準化）」

- ・県内の物流関連の中小企業様にDX化を推進する立場にありますが、具体的にどこから手を付けてよいのかが分からない企業様が多く、特に小規模配送会社様に合う具体的な事例や効果などを見せる必要があると考えます。中規模以上の企業様は既に自力で着手されております。（公益財団法人）

- ① 参加者の問題意識等共有
- ② **トラック物流の概況、2024年問題の背景について**
- ③ 西日本4局トラックGメン合同パトロール報告(近畿運輸局他説明)
- ④ 経済産業省の物流政策について (近畿経済産業局説明)
- ⑤ 参考資料紹介
 - ⑤-1 事前にいただいた問題意識等 (詳細)
 - ⑤-2 最近のトピック (各省報道発表資料等)
 - ⑤-3 政策パッケージの進捗、補助金情報、R7予算関係
 - ⑤-4 トラック輸送の原価計算・運賃交渉関係資料